

## 第38期第17回理事会議事録

日 時：2015年12月14日（月）13時30分～17時30分

会 場：ちよだプラットフォームスクウェア ミーティングルーム003, 004

出席理事：新野宏, 藤谷徳之助, 岩崎俊樹, 榎本剛, 竹内綾子, 田中 博, 中村健治, 中村 尚, 藤部文昭, 三上正男\*, 山田和孝, 余田成男, 以上12名

Web会議システムを通じた出席理事：佐藤 薫\*, 長谷部文雄, 以上2名

\*：議題5の途中から欠席  
(理事現在数20名)

出席監事：高谷康太郎, 以上1名

### 議 題

1. 第38期第16回理事会議事録の確認
2. 会員の新規加入等について  
新入会14, 退会14を全会一致で承認した。2015年12月9日現在, 会員数3,551名で個人会員は3,300名。
3. 個人情報保護方針について  
日本気象学会において, 行政手続における特定の個人を識別するための番号の適正な取扱いの確保について組織として取り組むため, 個人情報保護方針の改定案と, 基本方針及び取扱い手順の案について確認を行った。修正の上再度協議することとなった。
4. 電子情報委員会からの提案について  
気象学会ウェブサイトの「行事予定」の情報掲載について, 事務局, 支部, 委員会, 研究連絡会にそれぞれ予定の掲載をお願いする方針を全会一致で承認した。
5. 各委員会からの報告  
庶務…以下の報告があった。
  - 1) 転載許可  
なし

### 2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：雷サミット 15

主催：鶴岡市・雷文化都市構築推進委員会

期日：2016年1月16日

場所：鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール

名義：後援

②名称：第2回理論応用力学シンポジウム

主催：日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同力学基盤工学分科会

期日：2016年3月8日

場所：日本学術会議講堂

名義：共催

③名称：可視化情報全国大会（日立2016）

主催：一般社団法人可視化情報学会

期日：2016年10月8-9日

場所：茨城大学日立キャンパス

名義：協賛

### 3) 第39期役員選挙管理委員会

11月4日 第1回委員会開催

12月11日 第39期役員選挙立候補受付開始  
(1月12日締切)

### 4) その他

①11月4日 名古屋大学宇宙地球環境研究所  
設立記念行事に理事長出席

②11月13日 オンライン学術用語集に係る事業の科学技術振興機構への移管に伴う、国立情報学研究所との学術用語データベースに係る覚書・申合せの廃止（H28.3.31）に同意する文書を送付。

③11月30日 千葉大学環境リモートセンシング研究センター創立20周年記念式典に副理事長（理事長代理）出席

会計…2015年10, 11月分の収支及び現預金検査報告。

企画調整…以下の報告があった。

- ・第1回評議員会での意見等に対処するため、重点的に検討する項目を提示。今後、各委員会で検討を行うとともに、理事会でも検討を行う。

- ・大会運営の改善案について、「天気」11月号に掲載され、現在、会員からの意見を募集中である。

講演企画…企画調整委員会から示された秋季大会運営に関する提言に関して情報が共有された。

天気…以下の報告があった。

- ・Vol. 62 No. 11, 12 (2015年11, 12月号) の掲載記事と、Vol. 63 No. 1, 2, 3 (2016年1, 2, 3月号) の予定記事。

- ・研究を本務とする機関に所属しない著者の掲載料免除申請を受理した。

- ・天気の投稿規程案を確認し、本規程を12月14日付で制定することを全会一致で承認した。

気象集誌…論文投稿を促進するため、同一著者による1年以内の投稿論文に対する投稿料の減免措置について、2016年の投稿論文から開始することを全会一致で承認した。また、気象集誌の電子版を冊子に先んじて公開することについて全会一致で承認した。また、研究を本務とする機関に所属しない著者の掲載料免除申請を受理したことが報告された。

SOLA…年初からの投稿論文数が71編、出版済みの論文数が40編であることが報告された。

山本賞・正野賞…山本賞及び正野賞が設立されて3年目になることから、募集案内から経緯の部分を削除することとすることが報告された。

学術…「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進研究計画書」に関する意見募

集について、締切りを12月20日に延期したことが報告された。また、大型研究のマスタープラン2017の準備状況とスケジュールについて報告された。

気象災害…10月30日に実施した気象災害委員会第2回会合の報告。

教育と普及…公開気象講演会2016を、「台風災害」で企画していることが報告された。2016年度春季大会におけるジュニアセッションの実施に係る補助金申請と気象サイエンスカフェの実施に係る補助金申請について報告された。

国際学術交流…Asian Conference on Meteorology (ACM) 2015の暫定決算の報告。また、ACM2015及びACMの将来構想についてIFMSでの報告を準備していることが報告された。また、国際学術交流助成について、2015年度下半期は2件の応募があり、1件を採用することが報告された。また、今後も締切りを延長し、4月末と10月末とすることが報告された。

人材育成・男女共同参画…秋季大会で開催した女性会員のつどいの概要を天気に投稿することが報告された。また、WEB管理のための補助金申請について報告された。

6. 日本学術会議の防災学術連携体について  
防災連携委員会委員を、岩崎理事と筆保弘徳会員にお願いしたことが報告された。
7. 風工学シンポジウム運営費用の取扱いについて  
風工学シンポジウムの運営費用についての諸問題を検討するためにワーキンググループを日本風工学会に設置することを提案することについて、全会一致で承認した。
8. 協力学術研究団体の実態調査について  
日本学術会議が連携強化のため、協力学術研究団体を対象とした実態調査を毎年継続的に実施したいとの連絡があったことが報告された。

平成28年 1月 26日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏

監 事 高谷 康太郎